

山形県鶴岡市農業委員会

【農業委員会の体制】（平成29年11月26日移行）

- 新体制：農業委員20人、農地利用最適化推進委員31人、事務局職員9人
- 旧体制：農業委員45人、事務局職員9人



鶴岡市



1 地区の特徴・状況、課題

- 山形県の南西部に位置し、日本海に面している水田地帯。担い手に農地が集積されるにつれて、圃場が分散していく傾向にあった。

2 活動の成果

- 八栄島地区では情報交換会により地区内の担い手同士の交換を促し、農地の集約化を実現した。（鶴岡市全体での集積率：平成30年3月末時点で79%）

3 課題解決に向けた活動（農地利用の最適化の推進の取組と工夫）

- ①「分散した圃場の解消をしたい」と考える農業者が少なくなかったことから、農業委員会では平成29年12月に藤島地域八栄島地区で農地の交換を目的とした「情報交換会」を試験的に実施した。
- ②情報交換会には地域の担い手である9経営体が参加した。地区内の圃場の状況を示す図面を囲み、参加者同士が土地の特徴や条件等を自由に話し合った。農業委員や最適化推進委員が必要に応じて助言した。他にも農業委員会事務局職員、やまがた農業支援センター職員、市の農政課職員等が同席した。
- ③この情報交換会を通じて、3組7筆（約3.5ha）の農地が交換につながった。うち、所有者の意思を確認した上で、平成30年2月には農地中間管理機構を通じて3.2haの賃貸が成立した。
- ④参加者からの感想や意見等を踏まえて、会の進め方を検証している。市内11カ所に設置している農用地利用等調整委員会を通して、市全体で「情報交換会」を取り組めるように検討している。